かめだ図書館だより

新潟市立亀田図書館（江南区文化会館内）第３１号　令和２年１２月発行

あなたの「知りたい」をお手伝い

～図書館で疑問解決！～

日常のちょっとした疑問から、昔読んだ本に関することまで。なんでもお気軽にご相談ください！

図書館では、みなさんの生活の中にあるちょっとした疑問解決のお手伝いをしています。
（図書館では**レファレンス（調査・相談）**サービスと呼んでいます）
図書館の蔵書や Web 上のデータベースなどからお探しの情報を調査します！
どなたでもお気軽にご相談ください。

次のページで
事例を紹介！

インターネットコーナーも利用できます

ご自分で検索したい方のために、インターネットが利用できるパソコンを２席設けています。初めての方もお気軽にご利用ください。
（利用できないページが一部あります。印刷はできません。）

調査・相談事例紹介　―こんな質問にお答えしました―

Q.「ビワ茶」の作り方と効用が知りたいです。

A.　果実を漬けた「ビワ酒」はレシピ本に紹介されていますが、葉っぱを用いた「ビワ茶」となると、あまり目にしません。しかし、探してみると次のように紹介されていました。

①『決定版　お茶大図鑑』（主婦の友社／編 2012 年）166 ページ
健康茶として茶葉の製法・薬効が写真つきで紹介されていました。

②『ビワの絵本』（なかいしげお／編，農山漁村文化協会 2010 年）28 ページ
ビワの葉のさまざまな用途が歴史とともに紹介されており、その中にお茶の作り方と効用も載っていました。

この『ビワの絵本』は**児童書**ですが、**子ども向けの「知識の本」は、意外に詳しく載っています！**
図や写真が多くわかりやすいので、大人の問題解決に役立つこともたくさんあります。

Q. 昔両川村に鉄道が通るという話があったようなのですが、なぜ立ち消えになったのでしょうか。

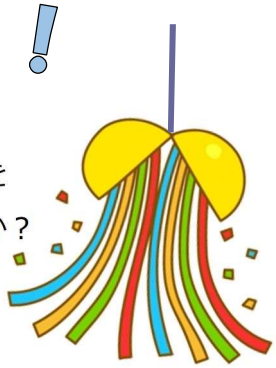
A.　亀田図書館にある本で探してみたところ、

①『両川郷土読本』（五百川清/編著　両川中学校 PTA　1989 年）36 ページ
1896 年創業の岩越鉄道が会津若松から酒屋の対岸の覚路津を終点とする計画があったと記されています。しかし、鉄道会社が国有化され、計画は実現しなかったとの記載があります。

②『両川村のあゆみ』（小村弐（はじめ）/編著　両川村公民館　1955 年）539 ページ
私鉄の岩越線が覚路津を終点とする鉄道計画を立てていたものの、工事半ばで国営化して当初の計画がご破算となったとの記載があります。

こういった相談のほかに、子どもたちから
★恐竜の本がたくさん読みたい！
★妖怪の本が読みたい！
★どんぐりを使って工作したいけどいい本はありますか？
といった質問もたくさんいただきます。
どうぞお気軽にお問い合わせください！！

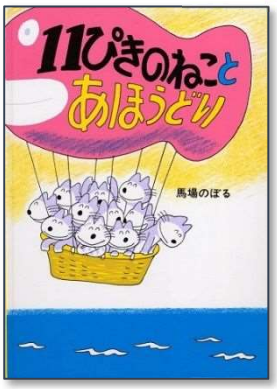
おすすめ絵本総選挙　結果発表！



秋の読書週間事業の「おすすめ絵本 総選挙」では、「食べる」をテーマに８冊の本を紹介しました。その８冊の中で人気を集めたのは、いったいどの絵本だったでしょうか？

65票

1位！



『11ぴきのねことあほうどり』

馬場 のぼる／著　こぐま社 1972年

コロッケ屋を始めたねこたちは、売れ残りを食べ飽きて、鳥の丸焼きを夢見るように。そこへ、旅の途中のあほうどりが現れ、11羽のきょうだいがいることを知ります。ねこたちは、コロッケを作ってあげると言いつつ、鳥の丸焼きが食べられるチャンスと、あほうどりの国へ向かいますが…。

読んだ後は、コロッケが食べたくなるはずです。

2位！

53票

『しろくまちゃんのほっとけーき』

わかやま けん／絵　森 比左志，わだ よしおみ／文　こぐま社 1974年

しろくまちゃんがホットケーキを作ります。道具や材料を準備して、まぜて、焼いて…。　絵本いっぱいにホットケーキがだんだんと焼けていく様子はとてもおいしそう！　こぐまちゃんと仲良くホットケーキを食べているシーンも大好きです。

32票

3位！

『おちゃのじかんにきたとら』

ジュディス・カー／作　晴海 耕平／訳　童話館 1994年

ある日、ソフィーの家のお茶の時間にあらわれたお行儀のいいとら。家中の食べ物をぜ～んぶたいらげてしまいます。そんなくいしんぼうのとらのために、ソフィーが買ったとても大きなものとは…！？

★惜しくもベスト３入りを逃した絵本も、おもしろいのでおすすめです！★

- **『ラージャのカレー』**　国松 エリカ／作・絵　偕成社 1993年
- **『あなあなはてな』**　はらぺこめがね／作　アリス館 2019年
- **『きょうのごはん』**　加藤 休ミ／作　偕成社 2012年
- **『おまたせクッキー』**　パット=ハッチンス／作，乾 侑美子／訳　偕成社 1987年
- **『パンがいっぱい』**　大村 次郷／写真・文　福音館書店 2012年

俳句の窓

江南区は昔から俳句が盛んな土地柄です。
地域の俳人・小嶋紅円さんから、江南区にゆかりのある俳人の句を紹介していただきます。

渋落す剪定鋸を雪に刺し

窪田竹舟

茅野山在住で 10 月 22 日亡くなられた亀田有数の梨農家俳人。降り積もった雪を踏みながら梨棚で梨の木の剪定をしている。木の樹液が鋸に付着し、切れ味が悪くなったのでその渋を落とすため雪の中に鋸を突き刺したという一句。

年迎ふ灯神にも佛にも

蒲原ひろし

亀田から出ている俳誌「雪」の主宰者。ご高齢になられたが、今なお医学史をはじめさまざまな史学の指導者として頼りにされている。新しい年を迎えるにあたり、灯明をご自宅の神棚に、お仏壇に上げたことを俳句に詠まれた。

小嶋紅円さん＊本名小嶋健一。江南区下早通生まれ。田村山火・紅子夫妻に俳句を教わる。俳誌「雪」に投句。著書：『世継椙』（俳句・俳文集）、『続世継椙』

おすすめの本

『戦国、まずい飯！』

黒澤 はゆま／著　集英社インターナショナル　2020 年

大河ドラマや時代劇を観ていて、この食べ物はどんな味なのか…と思ったことはありませんか。そんな疑問に対して、実際に当時の文献にあたり果敢に挑戦したのがこの本です。

赤米、芋がら縄、干し飯…文献に書いてある通り、やっぱりおいしくないものや、食べてみると意外とおいしいもの。実際に作って食べてみた食べ物の味とともに、その食べ物に関する武将のエピソードや歴史も分かりやすい文章で紹介されており、歴史豆知識としても楽しめます。

これらの食べ物を通じて、当時の生活を垣間見ることで、ドラマに出てくる人々が少しだけ身近に感じられるかも…。

図書館職員　波田野

『ねこのニャンルー』

どい かや／作　偕成社　2020 年

ニャンルーは、森のコナラの木の下で、家族 5 人暮らし。

ある日、魚を届けにおばあちゃんの家を訪ねると、ニャンルーや弟たちのために帽子を編んでいました。その姿を見て編み物がしたくなったニャンルーは、なくなったおじいちゃんのセーターをほぐして毛糸玉にして、おばあちゃんから編み物を習います。そして、夢中になって編んだものとは…。

『チリとチリリ』シリーズの作者の色鉛筆のやさしい絵とともに、おじいちゃんの思い出を通じて家族のつながりを考えるお話です。

12 月に入り寒くなりましたが、読み終えると、心が温かくなります。

図書館職員　飯島

「かめだ図書館だより」第 31 号・令和 2 年 12 月発行（年 4 回発行）
編集・発行　新潟市立亀田図書館（新潟市江南区文化会館内）
新潟市江南区茅野山 3-1-14
電話：025（382）4696　FAX：025（381）8003
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：https://www.niigatacitylib.jp
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：kameda.cl@city.niigata.lg.jp